

# 株式会社ウェザーニューズ 第38期定時株主総会 - 事前質問に対する質疑応答

2024年8月19日

事前質問に対する主なご回答は以下の通りでございます。

なお、事実関係が確認できない質問やプライバシーに関する質問等については回答を差し控えておりますのでご了承ください。

## 経営方針・戦略・事業内容

### Q1 山の天気に進出する予定はあるか。

A1 2024年8月9日に山の天気Chをリリースいたしました。天気の良い山が一目でわかり、有料コンテンツでは高解像度の風シミュレーションやレーダーが閲覧できます。また、全国約1,200の山の登山口と山頂の天気が把握できます。

(参考) [【8/9 プレスリリース】ウェザーニューズアプリで登山者向け気象情報「山の天気Ch.」を提供開始](#)

Q2 ウェザーニューズProの事業イメージの詳細を伺いたい。Proは素晴らしいシステムだが、PCの所有者が減りつつある中で、マイナーな市場を攻めているイメージがある。価格設定とターゲット層、採算性、ウェザーニューズ独自のデータの有無、何が付加価値なのか。また、どれくらいの期間で開発費用を回収し、黒字化できる見込みなのか。

A2 『プロの気象情報をすべての人に』をコンセプトにしており、個人ユーザーはもちろん気象情報をビジネスに活用したい個人事業主の方もターゲットにしているため、パソコンで利用したいというニーズにも応えています。

30時間先までの超高解像度雨雲レーダーやウェザーリポート、ライブカメラ、独自の防災コンテンツなど高度で専門的な情報を提供しており、他社にはない独自のコンテンツを多く含んでいるため、価格も妥当だと考えています。

また、ウェザーニューズProはアプリ『ウェザーニューズ』と同じように、開発が完了すれば少ないリソースで多くのユーザーに利用いただけるため、運用コストが低く採算がとれるまで長期的な時間はかからないと見えています。

## 経理・財務・株価・配当

**Q3 現状、無借金経営で自己資本比率も80%超と健全体質。社員持株会もあり、5年先、10年先を目的とした長期視点での株価上昇とその施策を希望する。**

A3 株価の推移については株式市場の影響も受けるので言及が難しいですが、長期目線での有効な施策の一つとして、株式分割については株主サポーター数の増加や株式の流動性の向上などに効果があると認識しているので今まで以上に具体的に検討していきます。

**Q4 ウェザーニュースProについて、株主への優待は検討されているのか。**

A4 そのような変更をすべく具体的に準備を進めています。

(注) 2024年8月17日の取締役会にてウェザーニュースProを株主優待にする旨を決議しました。

(参考) [【8/19】株主優待制度の変更に関するお知らせ](#)

## 予報精度・技術

**Q5 プロジェクトiconの様に、積極的に参加できる企画が欲しい。そら博も再開して欲しいので、あわせて検討してほしい。**

A5 参加者の人数や安全対策などを鑑みてイベントの開催を検討しています。なお、株主に限らず、子供たちを含めた希望者が参加できるイベントについては、SHIRASEなどでも不定期に開催しています。当社の事業活動や企業文化を理解いただく機会は継続していきたいと考えており、色々な企画に挑戦しつつ、全国でできることも考えていきたいと思っています。

**Q6 航空機撮影を趣味としている。旅客機は風向きによって滑走路の離着陸方向が変わるので、撮影ポイントや構図も変わる。航空気象のデータやアプリのウィンドフローモードの応用で、風向きから空港周辺や撮影ポイントでの撮影アドバイスが出るような「空港天気ch」は作れないか。**

A6 活用機会に応じたコンテンツは引き続き検討していきます。ウェザーニュース Proでは地上付近の風の様子が把握しやすい仕様になっているので、そちらも活用頂ければ幸いです。

**Q7 アプリに外れリポートが掲載されているが、予報士からのコメントもほしい。建設的な外れリポートもあるため、予報士が予報を外した原因(風のぶつかりを過小評価したなど)や、予報は当たってるのに伝え方に改善の余地があったのかなどを知りたい。**

A7 外れリポートの振り返りなどで予報精度向上に引き続き努めるとともに、フィードバックの発信方法についても検討を続けていきます。

## その他

**Q8 次回から会社見学会、研究成果展示会の復活などコロナ前の形式に戻してほしい。**

A8 安全対策の強化などの観点から、従来実施していた会社見学会は廃止いたします。なお、新しい形での情報発信を検討し、当社の事業活動や企業文化を理解いただく機会は継続していきたいと考えています。

**Q9 地震予知の協力サイトの設置を検討頂きたい。**

A9 地震についても正確で必要な情報を迅速に伝えることを重要視しています。一方で、地震予知については大変難しい分野だと認識しているので、慎重に検討させていただきたいと考えています。

**Q10 ウェザーニュースLIVEでのチャットのコメントでキャスターを傷つけるようなものを見かける。従業員を大切にしない企業に未来はないと思っているので、更なる対応をお願いしたい。**

A10 いただいたご意見も参考に、引き続き最適な運営方法について検討を続けていきます。

**Q11 ウェザーニュースLIVEのキャスターや気象解説員について。放送枠に対して人数が不足している（負担が多い）ように感じるが健康管理の状況や採用方針を教えてください。**

A11 出演者の健康には十分配慮しています。月1,2回程度、多少の延長はあるものの番組構成の調整なども行っておりトータルの業務時間は延長しないようにしています。ただし、地震などの緊急時の対応が発生した際は、使命感を持って皆で取り組んでいるので応援いただければと思っています。

キャスターについては現在はオーディションを通じて採用していますが、気象予報士の資格や経験、性別は不問とし間口を広く募集しています。最適なライブ運営に向けて今後も継続して検討していきます。

**Q12 ウェザーニュースLIVEのレポート紹介で、常連鼎眞と感じる時がある。スマホアプリではいかに新規ファンを獲得するかが成長に繋がると思っているため、平等な紹介を心掛けてほしい。**

A12 特定のリポーターのレポートに偏って採用しているということではなく、番組で使いやすい写真、コメントの長さなどが関係しています。

**Q13 「ウェザーニュースLIVE」の番組内の『ウェザーミュージック』というコーナーにて、特定のレコード会社のリリース作品に偏っており、季節や天気と関係ない楽曲もたくさん流れているように感じる。契約でそういう楽曲を扱うことになっているのか、また今後、取り扱い楽曲を増やして、季節や天気に沿った楽曲が増える予定があるのか伺いたい。**

A13 複数のレーベルと契約をしておりますが、契約の内容や予算の都合などで多少の偏りが発生する場合があります。また、レーベル各社にとっても「ウェザーミュージック」のような形での取り組みの過去事例がないため、試行錯誤しながら実績作りをしてる最中です。今後、流す楽曲が増える可能性はあります。

選曲については、季節や天気に関係あるものに限らず、例えば「夏だから元気になるもの」など、幅広い観点で選曲をしております。

- Q14 ウェザーニュースLIVEについて。Youtubeでの視聴時に（インターバルでない）番組中に広告が挿入され、重要な（あるいは聞きたい）情報を見逃すことが増え、視聴しなくなりつつある。本業である気象情報提供よりも、広告収入を優先する姿勢に疑問を感じる。企業価値を毀損していないか。
- A14 プラットフォーム側の仕様もあり、我々の側で制御することが難しい側面もあるため、その点では特性としてご理解いただければと思います。
- Q15 ウェザーニュースLIVEに芸能人の出演が増えたのが理解に苦しむ。天気予報の本線は通常通り行い、ゲストは別チャンネルでやってほしい。
- A15 いただいたご意見も参考に、引き続き最適な運営方法について検討を続けていきます。
- Q16 ウェザーロイドについて。Vtuber業界が近年拡大しつづけている中、御社の中にウェザーロイドという世界最古と言えるVtuberが非常に大きなアドバンテージだと考えているが、今後のファンミーティングなどのイベントにてウェザーロイドに出場させることは可能か。
- A16 いただいたご意見も参考に、市況の変化に応じて引き続き最適な運営方法を検討していきます。